

## 要請番号 (JL60916B35)

募集終了



| 国名  | 職種コード 職種  | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次                       |
|-----|-----------|------|------|----|------|----------------------------|
| ガボン | C103 野菜栽培 |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3 |

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

保健・社会保障・国民連帯省

#### 2) 配属機関名 (日本語)

国際財団 ランバレネ・アルベール・シュバイツァー病院

#### 3) 任地 (モワイエン・オグエ州ランバレネ市) JICA事務所の所在地 (リーブルビル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

ガボンのランバレネで地域医療活動に生涯を捧げたシュバイツァー博士。博士の医療活動の精神を受け継ぎ、1981年に現在の病院が建設された。同病院には、総合科・救急外来科・外科・手術棟・小児科・産婦人科・母子保健科・精神科・放射線科・検査室・歯科・薬局等が設置される。2015年の受診者数は約22,500名。活動資金は、主に国際組織からの援助が基となる財団の資金となる。2016年7月からは、日本の支援により、同病院併設の医療研究センターにて国際科学技術協力プログラム(SATREPS)が開始される。(シュバイツァー病院の参考ページ:<http://www.schweitzerlambarene.org>)

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

同病院には、日本の支援として、これまで草の根・人間の安全保障無償資金協力「アルベール・シュバイツァー病院滅菌処理室機材整備計画」や、JICAボランティア(診療放射線技師JV)派遣により5S改善、患者接遇改善などを行ってきた。同病院では、医療サービスのみならず、病院の自己運営・維持管理体制を再確立することを考え、病院地内で野菜栽培を行う計画を持つ。その計画実現と院内食糧生産システムの基盤作りのサポート役として、JICAボランティアの協力が求められている。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

シュバイツァー病院内での食糧生産を目指し、病院関係者との協働により、主に以下の活動を行う。

1. 病院敷地内で生産する野菜や果物の栽培計画を立てる。
2. 栽培地を整え、野菜等栽培を試み、工夫点・改善点を探る。
3. 病院内での食糧生産体制の将来的な可能性を検討する。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

川沿いの平地2ha(10年前まで野菜を栽培していた土地)・川沿いの平地に設置された東屋(屋根があり農作業ができる場所)・草刈り機・鍬など

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 病院長(50代男性1名)・病院管理者(50代男性1名)・庭師(30～50代3名)・調理担当(8名)・他診療科等に配置される医療従事者・病院運営管理に携わるスタッフ約200名・病院利用者など

## 5) 活動使用言語

フランス語

## 6) 生活使用言語

フランス語

## 7) 選考指定言語

### 【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒） 備考：あるいは専門学校3年卒業

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：野菜栽培の経験

### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

### 【特記事項】

住居は、同性JICAボランティアと同居となる可能性があります。(JVのみ)

※ガボン国への派遣については、同国の今後の治安情勢の動向を見極めながら、その都度安全確認を行った上、最終的な派遣を決定しますので、派遣の延期や中止もありうる点、ご理解の上で応募願います。